

立命館經濟學

第二十五卷 第四号

昭和五十一年十月

内 容

論 說

- 「高度成長」と社会「安定」装置 ……………三 好 正 巳 1
ヒルファディングの『金融資本論』の背景と
金融資本概念について……………田 中 宏 道 42

研 究

- 「高度成長」期における農山村の変容 ……………木 村 一 夫 78
資本集中と過剰資本の累積……………山 本 幹 夫 100

資 料

- 日本資本主義確立期の資本の存在形態(一)……………後 藤 靖 120

紹 介

- 最近の西ドイツ・フランス・アメリカの
自主管理運動について……………津 島 陽 子 166

書 評

- 小野一郎，篠原三郎編『社会主義的所有と管理』…………長 砂 実 180
共同研究室……………193

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第二十五卷・第一号

論 説

「有効需要の原理」と

IS-LM 分析……………小野 進

——ケインズ理論の現代的解釈によせて——

利潤と剰余労働……………北野 正一

——固定設備の耐用年数の決定を中心に——

欧州共同体の地域経済問題(一)……………清水 貞俊

翻 訳

フランスにおける労働者と

その家族の権利(三)……………戸木田 嘉久

——フランス労働総同盟

「ポケット法律便覧」から——

イングラム「タイの米価問題」……………田 坂 敏 雄

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十五卷・第二・三号

論 説

銀行信用・利子生み

資本の論理的前提……………小 牧 聖 徳

社会主義経済管理における民主主義の原理

とその展開の構造について……………小 野 一 郎

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(二)……………若 林 洋 夫

研 究

「完全雇用」保障計画と

公共職業訓練……………三 富 紀 敬

シヤウブ勧告と

戦後日本の資本蓄積……………藤 岡 純 一

研究ノート

最近のソ連学界における

「経済的社会構成体」の研究……………小 檜 山 政 克

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会